



コピー用紙「ちちぶの森の木になる紙」の販売が始まります

秩父地域森林林業活性化協議会では、秩父地域の間伐材を活用した紙製品の開発等を一般社団法人木になる紙ネットワークと連携して取り組んでいます。このたびコピー用紙「ちちぶの森の木になる紙」の取り扱いが大王製紙株式会社より4月から開始されることになりました。

【strong point/ここが言いたい！】

1. 製品概要

- ・ A4判 500枚×5冊
- ・ 原料の30%に秩父地域産のスギ・ヒノキ間伐材を使用

2. 特徴

- ①森林内に放置される「林地残材」や、木材としては利用されない丸太を有効活用しています。
- ②収益の一部が森林所有者等に還元され、将来に渡り森を守る活動に寄与できます。
- ③グリーン購入法適合製品であり、CO²の削減につながります。

3. 活用予定

- ・ 秩父市では令和8年度から全庁的に活用します。
(紙代の一部に森林環境譲与税を充当します。)

4. その他 詳細は別紙及びホームページ「森の活人」をご覧ください。



<https://morinokatsujin.com/purpose/efforts/paper/>



間伐



パッケージ外観

【next plan/今後の事業展開】

秩父地域内での活用を広めていくとともに、荒川流域圏構想の取り組みの一つとして、地域外の自治体や企業等にも普及を図っていきます。

秩父地域森林林業活性化協議会事務局（秩父市農林部森づくり課）

担当者：牧野

☎0494-22-2369

FAX：0494-22-2309



秩父市イメージキャラクター

ポテくまんとふめるちゃん

ちちぶの森の



木になる紙

使って守ろう 荒川・水源の森

Paper to save the forest

「ちちぶの森の木になる紙」は、埼玉県秩父地域の人工林で生産された木材を原料として作られたコピー用紙です。スギやヒノキなどの人工林は人の手によって管理されることで健全な状態を維持できることから、「伐って、使って、植えて、育てる」というサイクルを回すことが重要です。私たちが普段から使用するコピー用紙をこの「木になる紙」に変えることによって、その収益の一部を秩父地域の森林整備のために活かすことができます。



森にも、地球にも優しい製品です

活かす

森林内に放置される「林地残材」や、木材としては利用されない丸太(間伐材)を有効活用して作られています。

グリーン購入法適合製品であり、カーボンオフセットが適用され、本製品を選ぶことでCO₂を削減することができます。

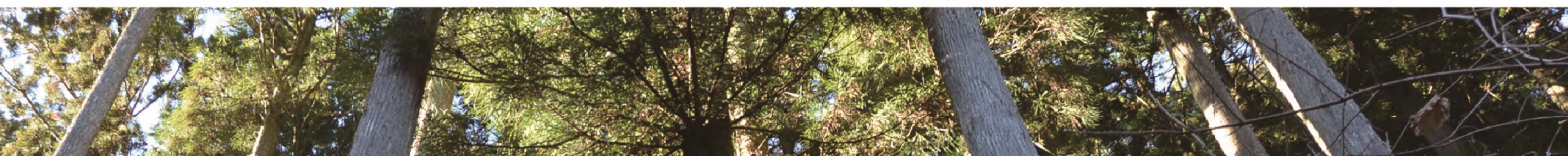
えらぶ

まもる

収益の一部が森林整備協力金として森林所有者等に還元され、将来に渡り森を守る活動に寄与できます。

製品概要

製品名	ちちぶの森の木になる紙
製品の内容	間伐材パルプ(原料の約30%)に秩父地域産間伐材を使用
製品仕様	A4判 500枚 × 5冊
間伐面積	約20平方メートル/箱
CO ₂ カーボンオフセット量	1,025g/箱
還元金	約52円
総合評価値	86点
グリーン購入	グリーン購入適合品(プレミアム基準)
価格	詳しくはお問い合わせください



人工林における間伐

立木の成長を促すための間伐を行い、原木を搬出します。原木は市場で競売が行われますが、建築材として利用されないものはチップ工場等へ運搬されます。



チェーンソーによる伐採



高性能林業機械



原木運搬用トラック

製紙用チップ化処理

分別管理がされているチップ工場にて原木の破砕処理が行われ、ウッドチップとなります。

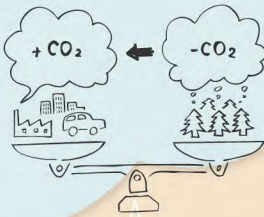


チップ工場

「ちちぶの森の木になる紙」ができるまで

「J-クレジット制度」とは

省エネ設備や再生可能エネルギーの導入によるCO₂等の排出削減量、適切な森林管理によるCO₂吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。クレジットが付与された製品を購入することで、企業活動や生活の中で生じたCO₂等の排出量の一部を、同じ量の削減・吸収量で埋め合わせ（オフセット）をすることができます。



製紙工場での加工

製紙工場に搬入されたチップは引き続き分別管理が行われ、古紙パルプと間伐材パルプを配合する手法によりコピー用紙が製造されます。

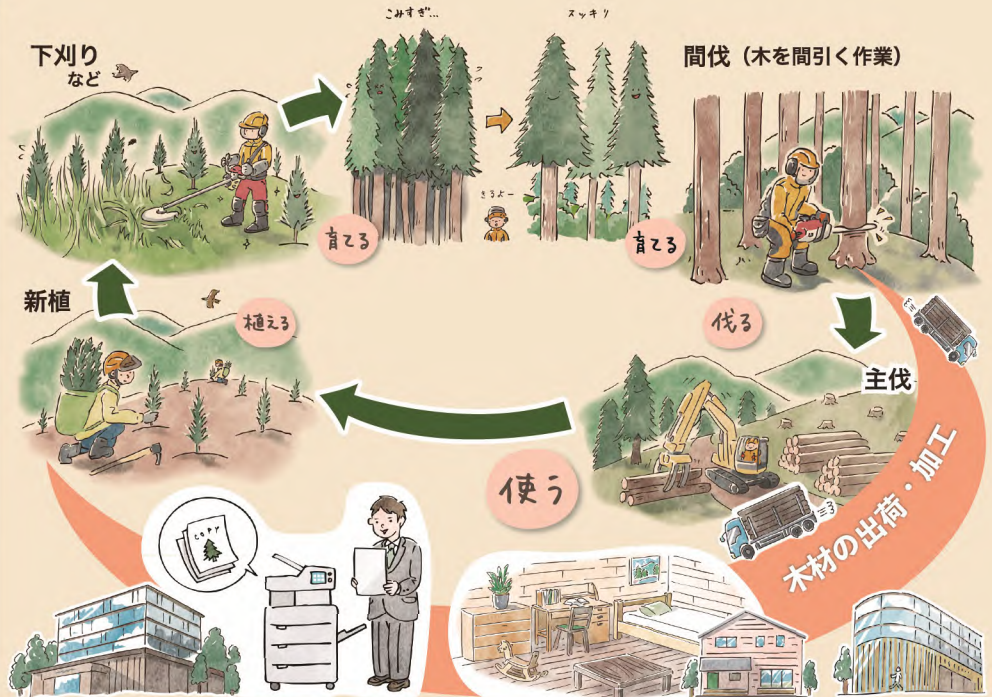


製紙工場



森林のサイクルを上手に回そう！

国内各地の人工林は、その多くが伐採に適した時期（伐期）を迎えています。しかし、木材価格の低迷、森林所有者の不在、林業の担い手不足など様々な理由により、適正な管理や木材生産がされずに放置されている森林がまだまだ多く存在しているのが実情です。私たちが積極的に木材を活用することで、林業や木材業が活性化し、森林の循環利用が進みます。日常的に木材を消費することは難しくても、毎日使う紙を「木になる紙」に変えることで、森林のサイクルを回すことができます。



「ちちぶの森の木になる紙」の取り組みについて

秩父地域森林林業活性化協議会
(秩父市農林部森づくり課内)
 TEL 0494-22-2369 FAX 0494-22-2603
 mori@city.chichibu.lg.jp

秩父の森・林業の情報サイト



商品のお取り扱いについて

一般社団法人
木になる紙ネットワーク
(担当:大林)
 TEL 03-6240-0880
 info@kininarukami-network.jp